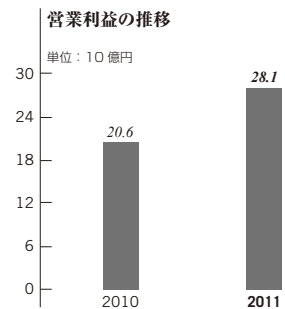
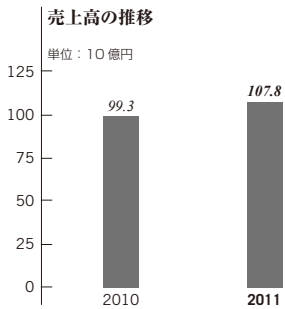
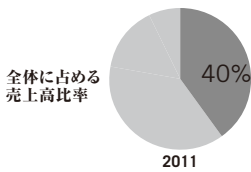


機械加工品事業



当会計年度の機械加工品事業の売上高は107,841百万円となり、前会計年度に比べ8,550百万円(8.6%)の増収となりました。営業利益は、28,088百万円と前会計年度に比べ7,454百万円(36.1%)の増益となり、売上高営業利益率(売上高は外部顧客に対する売上高)は26.0%と前会計年度に比べ5.2ポイント上昇しました。基礎技術・製品技術・製造技術を追求することで継続的な原価低減に努めたことと、世界景気回復による販売の増加や生産の増加による効率改善により増収増益となりました。

主要製品群、市場、市場での位置付け

製品群と主要製品	主要市場	当社の世界市場占有率 ^(注)
ミニチュア・小径ボールベアリング	各種小型モーター、家電、情報通信機器、自動車、産業機械	60%
ロッドエンド&スフェリカルベアリング	航空機	50%
ファスナー	航空機、自動車	—
ピボットアッセンブリー	HDD	60%

注：市場占有率は数量ベース。ロッドエンド&スフェリカルベアリングのみ金額ベース。当社で独自に入手した情報及び市場調査会社の情報を基に、当社が対象とする市場における占有率を推定しております。

事業詳細

前会計年度に比べ、主力製品であるミニチュア・小径ボールベアリング、ロッドエンド&スフェリカルベアリングの販売が市場環境の改善に伴い増加しました。ピボットアッセンブリーは、主要な販売先であるハードディスク業界への販売数量は増えたものの円高の影響等により売上高は横ばいとなりました。

ボールベアリング事業では、歩留まり向上と合理化による原価低減を継続して行っております。また、製造の原点への回帰をテーマとして事業の強化を図りながら、基礎技術開発部門の強化も図っております。今後につきましては、旺盛な需要に応えるため増産に努める一方、タイでの新工場の建設及び稼働開始準備を進めてまいります。新工場におきましては、ピボットアッセンブリー向けボールベアリングの他、新興市場向け低価格量産品及び中径サイズボールベアリングを量産する計画です。新興市場につきましては、ブラジル、中国、インドにおいて販売体制の強化を行っております。

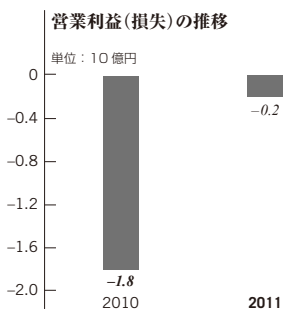
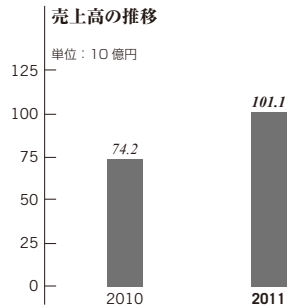
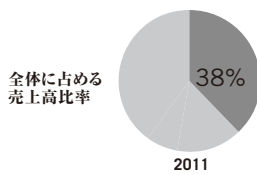
ロッドエンド・ファスナー事業では、拡大する航空機需要に対応するだけでなく、従来から展開しているロッドエンド&スフェリカルベアリングに加え、エンジン周辺部でのボールベアリング部品やより高度な加工技術を駆使した大型メカパーツ分野など、製品範囲の拡大を図っております。またロッドエンド&スフェリカルベアリングにつきましては、コストを削減するため、日本や英国工場からタイ工場への生産移管も進めております。

ピボットアッセンブリー事業では、歩留まり向上など継続的な原価低減と増産対応を図っております。ただし、ハードディスクドライブ市場の成長スピードに鈍化が見られたため、ピボットアッセンブリー新工場の建設は中止しました。

主要製品

ボールベアリング ロッドエンドベアリング スフェリカルベアリング ローラーベアリング プッシング
ピボットアッセンブリー メカニカルアッセンブリー 航空機用ネジ類 自動車用ネジ類

回転機器事業



当会計年度の売上高は101,139百万円と前会計年度に比べ26,954百万円(36.3%)の増収となりました。営業損失は225百万円となり、前会計年度に比べ損失が1,602百万円改善しました。売上高営業利益率(売上高は外部顧客に対する売上高)は△0.2%と前会計年度に比べ2.3ポイント改善しました。世界景気回復による販売の増加と、2010年4月よりパナソニック株式会社から譲り受けましたDCブラシレスモーター製品群が加わったことで売上が大きく増加しました。また損益面では、精密モーターは売上が減少し損益が大きく悪化したものの、DCブラシレスモーターでの新規連結効果に加え、振動モーター及びDCブラシ付モーターを除く情報モーターで原価低減が進み、HDD用スピンドルモーターの業績も改善したことで営業損失が縮小しました。

主要製品群、市場、市場での位置付け

製品群と主要製品	主要市場	当社の世界市場占有率 ^(注)
情報モーター (ファンモーター、ステッピングモーター、 ブラシ付DCモーター、振動モーター、 DCブラシレスモーター)	PC・サーバー、情報通信機器、 家電、携帯電話、自動車、 産業機械、OA機器	製品により 2～66%
HDD用スピンドルモーター	HDD	—
精密モーター	自動車	—
マイクロアクチュエータ	デジカメ、自動車	—

注：市場占有率は数量ベース。当社で独自に入手した情報及び市場調査会社の情報を基に、当社が対象とする市場における占有率を推定しております。

事業詳細

前会計年度に比べ、HDD用スピンドルモーターは市場の改善と拡販努力により売上を伸ばしました。情報モーターは、新たにDCブラシレスモーターが加わったこと、情報機器関連業界向けを中心に、市場環境が改善したこと等で、振動モーター及びDCブラシ付モーターを除き売上が増加しました。情報モーター事業では、新製品の投入やシナジー効果の追求を図っております。また2010年4月より、パナソニック株式会社から譲り受けましたDCブラシレスモーター製品群が新たに加わりました。

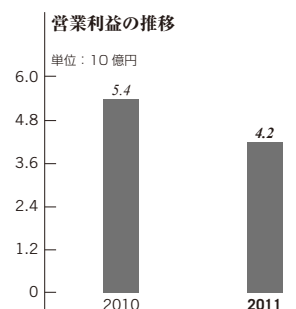
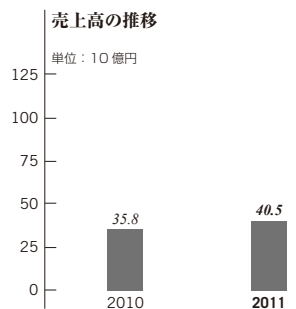
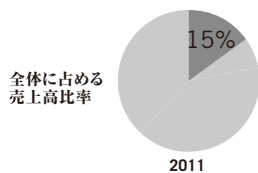
HDD用スピンドルモーターは、市場の成長性が高く単価の高い2.5インチHDD向けやサーバー向けスピンドルモーターに注力し、その生産・販売の拡大、歩留まり向上及び開発力の向上に努めております。

2011年4月に、小型モーターの生産基地となるカンボジア工場が仮工場稼働を開始しました。当社はカンボジアにおいて、生産開始より5年間同国内で50W以下の小型モーターの生産に関する排他的独占権をバイオニアインセンティブとして取得しています。さらに2011年5月には本工場の起工式を執り行ない、2011年内での完成を計画しております。カンボジア工場は、人手を要する組み立て工程に特化した拠点と位置付け、隣国タイ及びマレーシアにある当社工場から部品供給を受けて主にOA機器や家電・デジタル機器向け小型モーターの組立を担うことで、アジア地域全体での生産効率向上を目指します。

主要製品

ファンモーター PMステッピングモーター HBステッピングモーター ブラシ付DCモーター 振動モーター
DCブラシレスモーター HDD用スピンドルモーター 精密モーター ACプロペラファン ACラジアルファン

電子機器事業



当会計年度の売上高は40,502百万円と前会計年度に比べ4,722百万円(13.2%)の増収となりました。営業利益は4,160百万円と前会計年度に比べ1,225百万円(△22.7%)の減益となりました。売上高営業利益率(売上高は外部顧客に対する売上高)は10.3%と前会計年度より4.8ポイント低下しました。市場環境の改善と積極的な拡販により、液晶用LEDバックライトは売上が大きく増加しましたが、計測機器で一部の製品の生産が終了したことにより利益が減少したため、増収減益となりました。

主要製品群、市場、市場での位置付け

製品群と主要製品	主要市場	当社の世界市場占有率(注)
液晶用LEDバックライト	携帯電話、自動車、デジタルカメラ、デジタル携帯端末	13%
計測機器	産業機械、自動車	—

注：市場占有率は数量ベース。当社で独自に入手した情報及び市場調査会社の情報を基に、当社が対象とする市場における占有率を推定しております。

事業詳細

前会計年度に比べ、液晶用LEDバックライトはスマートフォン・携帯電話向けを中心に好調に推移したことにより売上が増加しました。計測機器は一部の製品の生産が終了したことにより、若干売上が減少し利益水準も低下しました。

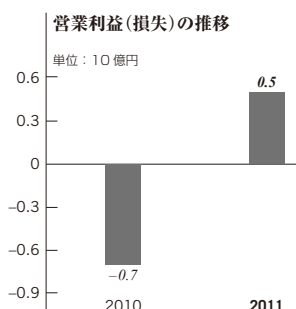
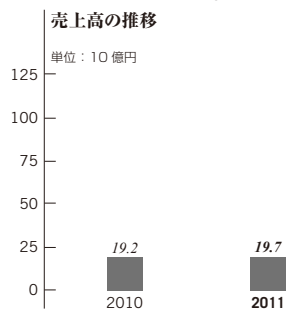
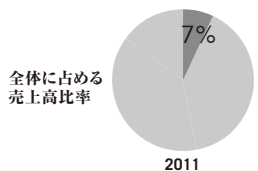
エレクトロデバイス製品事業では、中小型液晶用LEDバックライト製品の拡大、生産体制の拡大を行っております。2011年4月には、中国の蘇州工場が稼働を開始しており、旺盛な需要にこたえるため、更なる生産能力の拡大と新製品の拡充を図ってまいります。

計測機器事業では、新製品の開発、新市場の開拓を行っています。

主要製品

LEDバックライト バックライトインバーター LEDドライバー 計測機器 複合製品

その他の事業



当会計年度の売上高は19,657百万円と前会計年度に比べ467百万円(2.4%)の増収となりました。キーボードが黒字化したことで、営業利益は498百万円と前会計年度に比べ1,183百万円の改善となりました。売上高営業利益率(売上高は外部顧客に対する売上高)は2.5%と前会計年度より6.1ポイント改善しました。

主要製品群、市場、市場での位置付け

製品群と主要製品	主要市場	当社の世界市場占有率(注)
ノートPC用キーボード	ノートPC	3%
スピーカー	オーディオ機器、PC、自転車	—

注：市場占有率は数量ベース。当社で独自に入手した情報及び市場調査会社の情報を基に、当社が対象とする市場における占有率を推定しております。

事業詳細

前会計年度に比べ、特殊機器及びキーボードは、市場環境の回復で比較的好調に推移しました。また、キーボードは黒字化しました。

キーボード事業では、高付加価値商品の開発、コスト削減や効率化を推進しております。

スピーカー事業では、高付加価値品への特化、売上の拡大に努めております。

主要製品

PCキーボード スピーカー 特殊機器